

第7回エリア懇談会を開催しました。

第7回エリア懇談会では、両国観光まちづくりグランドデザインのポイントを改めて共有し、今後の取組について意見交換を行いました。

開催概要

日時：平成28年7月21日（木）18時から20時
場所：両国駅前会館1階 多目的ホール
出席者：横網一・二丁目、両国一・二・四丁目町会、隅田川・江戸文化観光振興会、慰霊堂協会、東京水辺ライン 計15名
事務局：墨田区都市計画課、観光課 計6名

地域の課題と取組 に関する意見

景観、暮らしの環境の変化について

- ・ワンルームマンションが増えてきた。
- ・緑が少なく、閑散としている。緑を増やして、風情のあるまちを作っていきたい。
- ・オリンピック・パラリンピックに向けて、下町の風情のある街並みづくり、緑づくり、電線地中化など、地域全体で景観の一本化を図る必要があるのではないか。
- ・本所警察署跡地の活用について考えたい。

まちの回遊性について

- ・日曜は、イベント時以外は人出が少ない。
- ・スカイツリーと両国がなかなか結びつかない。
- ・両国駅に商業施設ができる。賑わいが駅周辺に集中するのではないかと。地域の人も関わるとよい。
- ・江戸東京博物館は、実際に行ってみると1日楽しめる。
- ・両国駅周辺に来訪者が集中し、まちなかに人が歩かない。
- ・高札めぐりで、まち歩きをする人が増えてきている。
- ・小さな博物館をPRした方がよい。
- ・相撲部屋は朝稽古を見せてくれる。
- ・豎川沿いが歩けるようになるので、PRしてほしい。
- ・吉良邸跡や小さな博物館など、行きにくい場所に小さなバスが走ってくれるとよい。
- ・かつては、浅草に遊びに行くときは水上バスを使っていた。今より便数も多かった。そういった楽しみ方を復活できるとよい。

外国人観光客について

- ・現在は水上バスの便数も少なく、両国・浅草間はあまり乗らない。
- ・浅草を訪れる外国人の方が両国に来てくれるとよい。
- ・両国のまちなかには大型バスを置く場所がない。地域の方への配慮は必要だが、駐車場を用意する必要がある。
- ・まち歩きをする外国人の方が増えてきている。
- ・日本の伝統的な作法を伝えながら、買い物をしてもらう、両方の面で考える必要がある。

(仮称)まちブラマップ、東京マラソン に関する意見

地域情報について

- ・大橋巨泉さんは、両国四丁目出身。案内ができるとうい。
- ・地域の方しか知らない情報をもとに、エリアマップに反映したい。

マップの作り方について

- ・若い人の意見を吸い上げたい。
- ・地域の方にチェックしてもらおうとよい。
- ・町内会で配布して、意見を聞くとよい。
- ・色々な視点で見た方が、情報が集まると思う。

東京マラソンについて

- ・地域の住民が少ないので、ご協力いただきたい。
- ・昼食を挟むので、日曜日が定休日の店にも、ご理解いただき店を開けていただきたい。
- ・寒い時期なので、温かいものを出す露店を出すなど、来訪者の役に立てるとよい。